

230) めぐり逢いたい

昨夜の雨が風に変わって 木々の緑をゆり起こすとき  
まだ明けやらぬ港をあとに 北の岬に向かっています  
わたし旅人 見知らぬ国を 何にひかれて行くのでしょうか  
ああこの星のきつとどこかに わたしに似合う街があるはず

海の青さに抱<sup>いだ</sup>かれながら 雲の白さにひかれています  
旅は希望の光にみちて 心に自由の風が吹いてく  
過ぎたことなど忘れましょうね 新しい日が待っているから  
わたしの夢を結んでくれる 素敵な人にめぐり逢いたい

人はどうして生きて行くのか 空のカモメは教えてくれない  
人はどうして恋をするのか 海の魚は黙っているだけ  
この星のうえ きつとどこかに わたしが かえる街があるはず  
ああこの星のきつとどこかで 素敵な人が待っているはず

北緯50度 最果<sup>さいは</sup>ての国 白夜<sup>びやくや</sup>の街が近づいてくる  
見知らぬ人が聞き取りにくい 言葉かわして通りすぎてく  
あの人のこと好きだったけれど さよならなんて言わないつもり  
わたしの心みたしてくれる 素敵な恋にめぐり逢いたい

ああこの星のきつとどこかに 素敵な人が待っているはず  
わたしの愛をかなえてくれる 素敵な人にめぐり逢いたい